

07

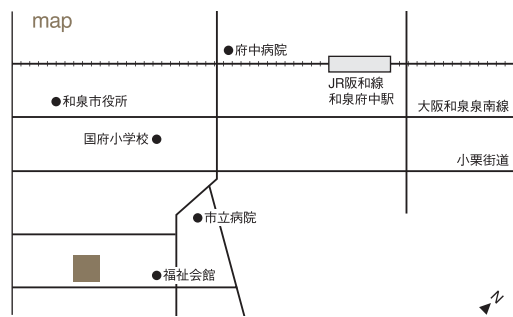
和泉市ものづくりサポートセンター

年間約600社を訪問して“顔の見える関係”を構築!

ものづくり企業を積極的に支援するため、平成15年に和泉市と和泉商工会議所により設立された『和泉市ものづくりサポートセンター』。「当然、設立当初は知名度ゼロ。まずは名前を知ってもらおうと、我々から企業にアポなしで訪問していました」と語るのは、コーディネーターの植野弘文氏。現在もスタッフ3人で年間約600社の企業訪問を行う。「和泉市には『テクノステージ和泉』と『トリヴェール和泉西部地区』という2つの大きな産業団地があるのですが、他エリアから引っ越してきた企業がほとんど。当然のことながら、団地内同士はもちろん、和泉市内の地場企業との関係も希薄です。こうした企業間をつなげていくためにも、訪問して“顔の見える関係”の構築が必須なんです」と語る藤原孝司センター長。「どんな内容でもいい、まずは気軽に相談して欲しい。そこから本当の“困りごと”を引き出して、解決するのが我々の仕事だから」という言葉に、どんな相談にも対応する気概を感じた。



(左上) 企業訪問はサポートセンターの活動の根幹に位置する。年間約600社を訪問することで、企業同士を結びつける精度や回数も高まった。(右上) 11月に開催された『第2回和泉市ビジネス交流会』は多数の参加で賑わった。(下) 様々な技術ジャンルに関する講座『和泉イブニングセミナー』の様子。



access

電車をご利用の場合
JR阪和線「和泉府中駅」下車、徒歩15分
南海バス「和泉市立病院前」下車、徒歩5分
「福祉会館前」下車、徒歩5分

information

和泉市ものづくりサポートセンター
和泉市府中町4-20-2
TEL_0725-46-9000
<http://www.monodukuri.izumi.osaka.jp/>

08

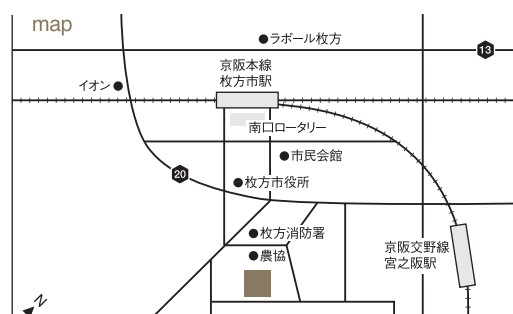
北大阪商工会議所

地域産業と健康・医療産業のマッチングを目指す!

平成24年8月に枚方市が『健康・医療都市ひらかたコンソーシアム』を創設したのに呼応して、北大阪商工会議所では11月に『医療産業連携情報交換会』を共催。枚方市内の医療機関・大学他、医療関連産業に興味を持つ企業12社が参加した。商工会議所が担う役割は、医療現場のニーズを拾うこと、非参入企業に積極的な情報提供を行うこと、そして医療分野に強いコーディネーターが医療現場とものづくり企業をマッチングすることの3点。新事業として健康・医療関連分野に注目するものづくり企業は多いが、参入障壁が高いと考えると躊躇する経営者も多い。北大阪商工会議所の木村容千相談所長は「商工会議所では、すでに6年前から医療関連産業とものづくり企業のマッチングを模索しており、成功実績や病院や大学、企業との交流もすでにある。当所が主導して、非参入企業が新事業として参入できる可能性を高めていきたい」と語る。6年間の地道な人と人のつながりづくりが、花開く時が来た。



(上) 『第1回枚方医療・産業情報交換会』を開催。医療機関や大学、企業の新規参入も含め多くの関係者が参加。(左下) 関西医科大学附属枚方病院など、枚方地域の複数の病院が『健康医療都市ひらかた』コンソーシアム連携事業に参画している。(右下) 産学連携により開発された『医療福祉講演会』、教育用心血管カテーテル・シュミレータの実演風景。



access

電車をご利用の場合
京阪本線「枚方市駅」下車、南へ徒歩10分

information

北大阪商工会議所
枚方市大垣内町2-12-27
TEL_072-843-5154
<http://www.kitaosaka-cci.go.jp/>